

2008年度 「居住環境デザイン演習」課題Ⅰ

Who・What・Where・When・Why・How・For anything・For anyone

「ライフスタイルによる住空間」

・出題者

衣袋洋一

山寄一也：web 型非常勤講師, Allies and Morrison Architects

・講評者

小西弘樹 (93年卒)

澤田英行 (85年卒)

桜井雄一郎 (03年卒)

七田裕 (94年卒)

寺島雅樹 (05年卒)

TA・

長門宏明

吉田琢哉

課題：「住宅」（個人設計）

1) ねらい1：対話からイメージを構築

設計とは、施主と設計者との対話から生まれるものであり、対話を繰り返すことにより生み出される「与条件」「問題点」、そこから生み出される「空間、形態に対するイメージ」「おぼろげな解決策」、そして具体的な「設計」を大切にする。⇒聞き上手

デザインする能力と同じくらい施主とのやりとりを進めるコミュニケーション能力（対話する能力）が重要である。⇒引き出す能力

2) ねらい2：ID (Industrial Design)

建築空間の内部又は外部を構成する要素（インテリア、エクステリアを構成する家具調度品、照明機器、その他）も考慮してインテリア及びエクステリア＝外部空間&ファニチュアを設計する

3) ねらい3：周辺環境

「住居」を通じ、形態、空間と街路、隣接住居領域等の「境界領域」＝「周辺領域」を考える。⇒アフオーダンス

4) ねらい4：建築製図

建築製図をとおして、情報としての図面（平面図、立面図、断面図、詳細図等々）をきちんと描くこと。

5) ねらい5：建築設計

目的設定：テーマ（物語、夢を抱かせ、空間、形態がイメージさせる抽象的言葉）の設定。

データ収集&分析と問題抽出：

- ①設計方法論獲得のために、参考にすべき建築家、作品データ収集
- ②客観的データとしての敷地、周辺環境の調査と施主の意見徴収
- ③各々の分析を通して、①からは設計方法の組み立て、②からは必要な機能、寸歩、ボリューム等々の把握

6) 設計と条件（施主との対話からライフスタイルをイメージし、設計する）

- ・家族構成：別紙参照
- ・敷地：別紙参照
- ・周辺環境：別紙参照
- ・構造：各自設定（自由であるが、構造・構法を生かしたものとする）、施主の要望があればそれを優先
 - ※構法が創り出す「空間」「形態」の特徴を充分把握する事
 - ※構法：①建築の構成方法
 - ②材料および構成部分により構成される建物の実体
 - 工法：建物の組み立て方、造り方、施工の方法。広義には構法を含む
- ・法規：集団規定一市街化区域・第2種住居専用地域・その他指定（高度、防火等）無し。
 - 単体規定一廊下幅員、天井高、採光有効面積等々基本的寸法と大きさ。
 - 建蔽率、容積率一別紙参照
 - ※基本的なことを考え、あまり「法規」にはこだわる必要はないが、基本だけは熟知しておくこと。
- ・所要室：（施主とのヒヤリング等で設定する）
- ・その他：（施主とのヒヤリング等で設定する）

8) 提出図面

- ・計画説明：完成に至るまでの設計者の意図（計画趣旨）を文字、数値、画像等々の情報をまとめ、他人（施主）にわかりやすいようにプレゼンテーションする。
 - 文字、図等のレイアウトに注意し、全体をグラフィカルに表現すること。
- ・周辺環境図：縮尺、表現は自由。どこに、どのような環境、どのように、方位等々がわかるように。
 - 建物は屋根伏せで表現し、周辺環境および外構計画を含めて表現する。（影付けをする）

- ・ 平面図：各階平面図（1階平面図は配置、外構を含む）
縮尺：自由（家具の配置、詳細まで記述）
- ・ 立面図：（主要2面・影付けをする）
縮尺：自由（背景、添景等の記述）
- ・ 断面図：（主要1面）断面図を見れば、その人の設計センスが分かるといわれるほど重要です。
断面図＝空間から考える建築家もいるほどです。
縮尺：自由（家具の配置、詳細まで記述）
- ・ 透視図：（外観および主張したい内観）
※外観は他の建築物、車、人、植栽等周辺環境まで含み、内観は家具、人間等の添景を入れること
- ・ その他：自分のコンセプト、表現したいこと

9) 用紙

- ・ サイズ：A1一枚（紙質は自由。一枚に全ての図面を収めることは密度ある表現になる。レイアウト等に十分気を付けること）

10) その他

- ・ 寸法：スケールで表現する
- ・ 方位：作図する時は、紙の上部を「北」にするのが原則。必ず方位を表す「記号」を書き込むこと
- ・ 部屋名：その場所に必ず記入すること

11) 日程

- | | |
|-------|---|
| 4月10日 | ガイダンス（授業説明、第一課題出題） |
| 4月17日 | 第1回総合ミーティング&アナログエスキス（施主ミーティングからのキーワードの抽出） |
| 4月24日 | 第2回総合ミーティング&アナログエスキス（施主ミーティングからのキーワードの抽出） |
| 5月1日 | 第3回総合ミーティング&アナログエスキス（イメージを図面化） |
| 5月8日 | 第4回総合ミーティング&アナログエスキス（イメージを図面化） |
| 5月15日 | 第5回総合ミーティング&アナログエスキス（イメージを図面化） |
| 5月22日 | 第6回総合ミーティング&アナログエスキス（イメージを図面化） |
| 5月29日 | 第7回総合ミーティング&アナログエスキス（イメージを図面化） |
| 6月5日 | 提出（A1用紙・PDF） |
| 6月7日 | 講評会&ガイダンス（第二課題出題） |

★各週の総合ミーティング&アナログエスキスでは3次元Object CADでのシュミレーションした空間・形態を、未完成であっても図面化（透視図・平面図・断面図・立面図）し表現してください。（必須）

★この課題に取り組んだデータ（スケッチ、写真、言葉等）から最終に至るまでのデータ、図面等を「Web Studio」上に記載すること（必須）

講評会

6月7日(土)午後2時から、情報処理演習室で居住環境デザイン演習第課題講評会をおこないました。講評内容は各学生の作品タイトルをクリックすることで閲覧できます。

r06010	榎本俊輔	「カゾクノイロ」
r06012	大川郷	「町のお母さんの家」
r06017	大貫結衣	「たまご」
r06026	喜多村佳典	「SMALL HOUSE」
r06038	小谷野舞香	「かくれんぼの家」
r06044	鈴木英明	「大きな輪の家」
r06051	竹内慶太郎	「Tubo Familia」
r06052	竹下悦子	「音楽の家」
r06063	中島彩	「美味しい縁側」
r06087	吉田新	「ミルフィーユハウス」
j06021	大塚駿亮	「まるでパーティの家」
j06041	久木野陽一	「残像・気配が感じられる家」
j06074	成富康朗	「さんぼする家」
j06100	宮地洋	「棚に暮らす家」
k06015	上野翔	「ファッションする家」
k06023	大倉健	「奥さんの家」
k06019	大野剛	「XYZ～3つのチューブが貴く家～」

総評

全体の学生は図面をかけることを学んでください。図面が描けていないとコンセプト、作品以前の問題です。

私や衣袋先生のエスキスのとき、学生は試されています。これでいいのか？と。学生は説明がつかなくても「自分がこれが良い」というこだわりを見せて進めて行ってほしい。

ネットでやりづらいこともあると思いますが基本オープンに接していきたいと考えています。第二課題もどうやっていきましょう。

講評会, 懇親会の様子



居住環境デザイン演習'08の詳細はweb-studio 及びItai-Lab Homepageよりご覧になれます。